中川運河から、未来を編む滞在
セトレ キャナル 名古屋 2026年6月18日(木) 開業

地域と人をつなぐSETRE、東海初進出
その土地の時間と感性を編み込む、新しい都市ホテル

セトレ キャナル 名古屋 公式サイト： https://www.hotelsetre.com/lp/nagoyaopen/

関西を中心にコミュニティホテルを展開する株式会社ホロニック（本社：兵庫県神戸市／代表取締役：長田一郎）は、
東海地区初進出となる新ホテル「セトレ キャナル 名古屋」を、
2026年6月18日（木）に開業いたします。
セトレブランドとしては6店舗目となり、**2026年3月5日(木)より宿泊予約の受付を開始**予定です。
本施設は、中川運河堀止地区の再開発プロジェクト「NAKAGAWA CANAL DOORS」の一角として誕生。
歴史・文化・水や風の流れなど、その土地に流れてきた時間を丁寧に読み解き、
空間・食・人の関わりへと落とし込むことで、ここでしか生まれない滞在体験を提供します。

開業の背景・出店の意義

セトレはこれまで、「その土地らしさ」を大切にしながら、地域の生産者や文化、風土と向き合い、
ホテルを“泊まる場所”ではなく、“地域と出会うメディア”として育ててきました。
ただ“つながる”のではなく、その土地に息づく時間や物語をすくい上げ、空間や食、
人の関わりへと翻訳することで、**ここでしか生まれない滞在体験**を紡いでいます。
中川運河は、かつて名古屋の物流と産業を支え、まちの成長を静かに見守ってきた場所です。
その記憶を受け継ぐ水辺に、**過去と未来、日常と非日常がやわらかく交差する拠点**として
「セトレ キャナル 名古屋」は誕生します。都市のなかでありながら、
自然の気配と呼吸を合わせ、感性をひらく場所として、
地域・社会、そしてこれからの暮らしに静かに問いを投げかける“滞在の場”でありたいと考えています。

コンセプト
中川運河から、未来を編む滞在

かつて物流と産業を支え、まちの成長を見守ってきた中川運河。
この水辺に寄り添う時間が、地域・社会、そして地球の未来へと想いを巡らせる
きっかけになることを目指し、本ホテルは生まれました。水と緑、やわらかな風、移ろう光。
都市にありながら自然と呼吸を合わせるように過ごす時間のなかで、土地の魅力や環境との関係性に
そっと気づいていく――ここは、ただ泊まるための場所ではなく、
過去と未来、日常と非日常が交差し、新しい暮らしのかたちを編む拠点です。

【お問い合わせ先】
㈱ホロニック　広報担当：舩木
TEL：080-4071-6661　MAIL：funagi@hol-onic.co.jp

セトレが大切にする価値

SETREは、「その土地らしさ」を編み込むホテルです。
歴史や文化、水や風の流れ。その土地に流れてきた時間を空間や食、
人の関わりへと映し出し、“泊まる”を超えた体験を届けてきました。
名古屋・中川運河でも、都市と自然が重なるこの水辺の呼吸を大切に、
滞在を通じて地域や環境とのつながりに気づくきっかけを育みます。
日常から少し距離を置き、感性をひらく。ここは、水辺の編集拠点です。

この場所が大切にする4つのこと

再開発が進む中川運河エリアにおいて、水辺の新しい滞在価値を提案します。

01｜名古屋駅から歩く、その先に

名古屋駅から少し歩いた先、喧騒が
ほどけるように現れる中川運河の水辺。
都市の延長線上にありながら、水と風、
空の広がりを感じられる場所です。

02｜サウナという、整う時間

水と木に包まれて、感覚を取り戻す。
愛知県産の木材を使ったサウナと、
運河の気配を感じる半屋外浴場。
温まり、ほどけ、静かに整う。
この場所だけの、深い余韻を味わえます。

03｜オールインクルーシブ

何も選ばず、ただ身をゆだねる。
ドリンクや軽食、ラウンジで過ごす時間まで、
滞在に必要なものは、すでにここに。
考えなくていい心地よさが、時間をゆっくり
と解いていきます。
※滞在中のドリンクや軽食を含むオールインクルーシブスタイル

04｜時間にほどける、ひらかれたテラス。

水辺の風と、目の前を走る新幹線の
気配。都市と自然が重なり合うこの
場所で、火のゆらぎと木々の影が、
夜をやさしく照らします。
ただ座り、眺め、語らい、何もしない。
そのひとときが、少しずつ“自分に戻る
時間”になっていきます。

【お問い合わせ先】
㈱ホロニック　広報担当：舩木
TEL：080-4071-6661　MAIL：funagi@hol-onic.co.jp

施設・空間の特徴

Guest Room ｜客室

全24室すべてが運河ビュー。
名古屋駅徒歩圏内にありながら、
水辺の風景を独り占めできる客室です。
靴を脱いで過ごす設計と、木の温もりを活かした内装で、
都市と自然のあいだで心をほどく時間を提供します。

Lounge ｜ラウンジ

愛知・名古屋ゆかりのドリンクや軽食を
自由に楽しめる宿泊者専用ラウンジ。

廃材を再活用した家具や本棚に囲まれ、
地域資源の循環を体感できる空間です。

Restaurant ｜レストラン

愛知の風土が育んだ食材を、
炭火の力で引き出すレストラン。
三河湾の魚介、知多半島の恵み、地元野菜。
地域の生産者とつながりながら、
この土地の物語を皿の上に描きます。
食を通して、名古屋と出会う時間を。。

Bath & Sauna ｜浴場・サウナ

愛知県産木材を用いたサウナと、
自然の風を感じる半屋外浴場。
木の香りと運河をモチーフにした空間で、
都市にいながら自然と呼吸を合わせる、
五感を整えるひとときを。

Mio Terrace｜テラス

都市の中心にありながら、驚くほど静かな水辺のテラス。
名古屋高速の光と、中川運河の水面、
やわらかな風が重なり合う空間です。
都会の喧騒から少し距離を置き、
ここだけの特別な時間を過ごす“水辺のオアシス”。

【お問い合わせ先】
㈱ホロニック　広報担当：舩木
TEL：080-4071-6661　MAIL：funagi@hol-onic.co.jp

PROJECT｜「アプデの森」とつくる、循環するサウナ
SUSTAINABILITY｜森と未来につながるサウナづくり

■ サウナ × アプデの森　アプデの森の木とともにつくる、“循環するサウナ”

セトレ キャナル 名古屋のサウナには、愛知県内の「アプデの森」で育まれた木材を使用しています。手入れの行き届かなくなった人工林を適切に整備し、
森を“更新（アップデート）”することで、環境の再生と地域資源の循環を目指す取り組みです。
このサウナは、ただ“整う”ための設備ではありません。
森の時間を受け継いだ木の香りに包まれながら、
自然と人、都市と環境のつながりに思いを巡らせる。
このサウナは、滞在そのものが持続可能な未来と出会うきっかけとなる空間です。

**※「アプデの森」は、中京テレビが展開する、森の再生や持続可能な資源循環をテーマとした環境プロジェクト・番組です。
地域の森林を守りながら活かす取り組みを通じて、人と森、そして未来をつなぐ活動を行っています。**

複合施設「NAKAGAWA CANAL DOORS」について

本ホテルは、再開発が進む水辺の複合施設
「NAKAGAWA CANAL DOORS」の中核として誕生します。
ホテル、レストラン、カフェ、サウナ、ワークや交流の場が
ゆるやかにつながり、訪れる人それぞれの過ごし方を
受け止める“水辺の拠点”を形成します。
セトレ キャナル 名古屋は、宿泊にとどまらず、
水辺の新たな文化とにぎわいを育む存在を目指します。

今後の展望

セトレ キャナル 名古屋は、宿泊機能にとどまらず、**地域と共に新しいにぎわいと文化を育てる拠点**を目指します。東海エリアにおける新たな展開の起点として、
ホテルを“地域を編集し、発信するメディア”として機能させていく予定です。

施設概要

施設名称	セトレ キャナル 名古屋
開業日	2026年6月18日（木）
客室数／階数	24室　／　地上3階建て
レストラン席数	28席
所在地	〒454-0013 愛知県名古屋市 中川区運河町２番７号２
アクセス	名古屋駅から徒歩15分 ささしまライブ駅から徒歩5分

会社概要

会社名：株式会社ホロニック
設　立：1998年12月
代表者：長田 一郎（おさだ いちろう）
本社所在地：兵庫県神戸市東灘区
向洋町中6-9
神戸ファッションマート10階
TEL：078-858-6908

【お問い合わせ先】
㈱ホロニック　広報担当：舩木
TEL：080-4071-6661　MAIL：funagi@hol-onic.co.jp